

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-312652

(P2000-312652A)

(43) 公開日 平成12年11月14日 (2000. 11. 14)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

A 4 7 K 3/022  
7/04

識別記号

F I

A 4 7 K 3/022  
7/04

データベース(参考)

2 D 0 3 4

審査請求 未請求 請求項の数10 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平11-161490

(22) 出願日 平成11年5月3日 (1999. 5. 3)

(71) 出願人 000124513

河村 修治

愛知県春日井市中新町1丁目4-10

(72) 発明者 河村 修治

愛知県春日井市中新町一丁目四番地十

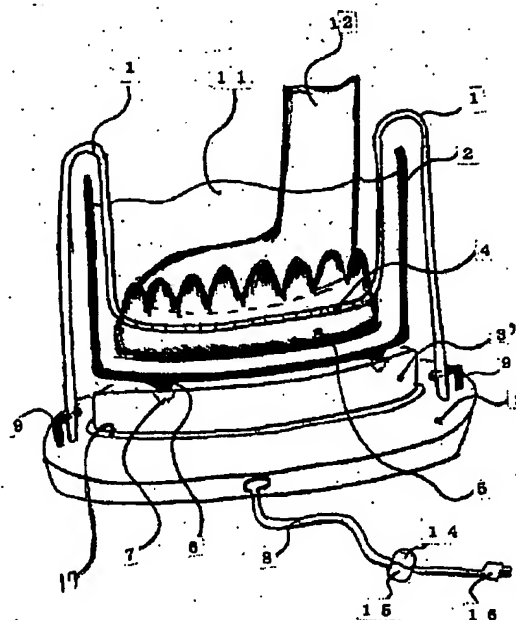
Fターム(参考) 2D034 DA04

(54) 【発明の名称】 足のうら洗い機 (マメちゃんかき機)

(57) 【要約】

【課題】従来足のかかとのひび割れ、魚の目、足のマメは風呂に入った時軽いしでこすり取っていた。長時間湯船に入っていないと軽石でも、これらの物を取り除くのは難儀であった。ベッドの上の病人、老人の足は脂気がなく分厚い皮がめくれ、ガリガリとなり風呂に入れない人の足の手入れは時間がかかり大変である。

【解決手段】かかとのひび割れ、魚の目、足のマメなどを、湯が冷めることなく、長時間湯にひたす事が出来、軟らかくなった後、振動スイッチを手元に入れる事で、風呂に入れない病人や、一人では手入れの出来ない老人でも、自分で手入れが出来るようになった。足がさっぱりする事は元気の源となる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 かぶせる本体

【図 1】と中に入るバケツ

【図 2】と台

【図 3】の三つからなるものとする 足のうら洗い機  
に関するものである。

【請求項 2】 かぶせる本体

【図 1】の上に足を乗せるものとし、その本体 (1) の  
上部は足のこうが沈む迄凹ませた形とする

【図 6】。

【請求項 3】 足のうらの当たる部分をサナ (4) とす  
るもので、そのサナ (4) は、つま先、両横、かかとの  
部分に大きく孔 (13) をあけたものとする。

【請求項 4】 この足のうら洗い機は、本体

【図 1】を、バケツ

【図 2】と台の

【図 3】にかぶせて

【図 4】のように使用するものなり。バケツ (2) の下  
部に突起 (6) を作り、台 (3') には突起に合う穴  
(7) をもおけバケツ (2) は台 (3') に乗せるだけ  
のものとする。【請求項 5】 バケツ (2) には湯と足のうらを洗う、  
敷物 (5) を入れるものとする。【請求項 6】 敷物 (5) はジュウタンの様に毛足の長  
いループ状のタオル式の物や、ヘチマやその他の色々の  
素材【図 10】で作り取り替えて使用するものとする。この敷  
物 (5) は本体 (1) の中のサナ (4) の上に出るよう  
に作る。

【図 4】を参照。

【請求項 7】 バケツ (2) に入れた湯 (11) が冷め  
ないようにするために台の上部 (3') にヒーターの装  
置を内蔵させるものとする。同じく台 (3') に振動さ  
せる装置を内蔵させることを特徴とする。台 (3') は  
台 (3) の上で振動するが台 (3') と台 (3) は一体  
である。【請求項 8】 この「足のうら洗い機」は台 (3') を  
振動させることで、バケツ (2) を振動させるものとす  
る。サナ (4) は動かないが敷物の毛足がサナ (4) か  
ら出ていることで、足のうらを洗う事が出来る。

【図 4】参照

【請求項 9】 特に強く洗いたい部分は孔 (13) に押  
しつけて洗う。強く洗える敷物に

【図 10】取り替えて使用することも出来る。

【請求項 10】 台 (3') 台 (3) は防水とする。本  
体

【図 1】は台

【図 3】に乗せ、留め具 (9) で合体させるものとす  
る。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明に属する技術分野】本発明は足のうらを、お湯で  
軟らかくし、かかとのひび割れ、魚の目、足のマメなど  
振動で優しく取り除き足の清潔を保つことに関するもの  
である。

【0002】

【従来の技術】従来足のかかとのひび割れ、魚の目、足  
のマメは風呂に入った時、軽石でこすって取っていた。  
長時間湯船に入っていないと軽石でも取り除くのは難儀  
であった。ベッドの上の病人、老人の足は脂気がなく、  
分厚い皮がめくれ、ガリガリの足となり、風呂に入れな  
い人の、足の手入れは大変な時間がかかっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】風呂に入れない病人  
や、老人は自分では足の始末が出来ない。特にかかとの  
ひび割れ、魚の目、マメなどの手入れは時間がかかり、  
付き添いの方は大変難儀をしている。堅いひび割れ、魚  
の目、マメは時間をかけて湯につけないと苦痛を伴う。【0004】本発明は上記のような点を解決するために  
なされたものであって、風呂に入れない人、自分で足の  
手入れの困難な人が、ヒーターで冷める事がない「足の  
うら洗い機」で時間をかけて、ふやかす事が出来て、堅  
い足のうらを軟らかくする事が出来る。そして手元のス  
イッチ操作で振動させる事が出来ることで、自分で足を  
洗うことが出来るようになった。

【0005】

【課題を解決しようする手段】これらの課題を解決し  
ようとする構成は、動かない本体

【図 1】とバケツ

【図 2】と振動する台 (3') と台 (3) からなるもの  
とする。台 (3') は台 (3) の上で振動するものとし  
台 (3') と台 (3) は一体のものとする。

【0006】かぶせる本体

【図 1】の上部に足を乗せるものとし、その上部は足の  
こうが沈む所まで凹ませて下げた形【図 6】とする。足のうらに当たる部分をサナ (4) に  
し、そのサナ (4) の孔 (8) はつま先、両横、かかとの  
部分と共に大きく孔をあけるものとする。本体【図 1】は少々体重が掛かっても良いように丈夫に作る  
ものとする。本体

【図 1】は、動かないものとする。

【0007】バケツ (2) の下部に突起 (10) を作  
り、台 (3') の上部に (10) の突起がはまるくぼみ  
(11) を作るものとする。【0008】バケツ (2) には湯 (11) と足のうらを  
洗う敷物 (5) を入れて使用するものとする。【0009】バケツ (2) の湯 (11) が一定の温度に  
保たれるように台 (3) の内蔵にヒーターの装置をもう  
ける。なお台 (3') を振動させる振動装置はこの台  
(3) 台 (3) の内蔵に、もうけるものとする。本体

【図1】と台

【図3】は留め金(9)で合体させるものとする。台

【図3】は防水とする。

【00010】

【発明の実施の形態】本体の外形

【図1】は、可愛い動物又はキャラクターとする。台

【図3】の上にバケツ

【図2】を乗せ、そのバケツ

【図2】の中に敷物(5)を入れる。その上に本体

【図1】かふせ留め金(9)で止める。使用寸前に水又は湯(11)を入れて温度スイッチ(14)入れる。足(12)を湯に入れて足のうらが軟らかくなってから、振動のスイッチ(15)をいれる。特に強くこすりたい処は孔(13)に押しつける。堅すぎる足には敷物【図10】を変えて洗う。

【0011】 使用後はバケツ(2)と敷物(5)を取り出して洗う。使用方法は、寝ていても、座っていても、トイレの中でも使用が可能。足がさっぱりする事で、風呂に入れない病人や手入れの困難な年寄りには大変な福音となる。

【0012】

【発明の効果】かかとのひび割れ、魚の目、足のマメなどを、湯が冷めることなく、長時間湯にひたすことが事が出来、軟らかくなった後振動のスイッチを手元で入れる事で、風呂に入れない病人や、一人では手入れの出来ない老人が自分で手入れが出来るようになった。足がさっぱりする事は元気の源になる。

【図面の簡単な説明】

\*【図1】 足のうら洗い機全体図

【図2】 バケツの図

【図3】 振動する台と支える台の図

【図4】 使用している断面図

【図5】 本体を上部から見た図

【図6】 本体の断面図

【図7】 使用する時にバケツに入れる物の図

【図8】 バケツに本体を乗せた図

【図9】 使用する直前の断面図

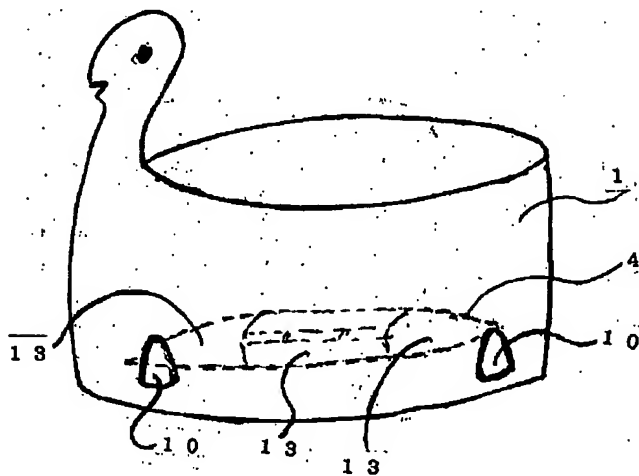
10 【図10】足を洗ったり、こすったりする色々な敷物

【符号の説明】

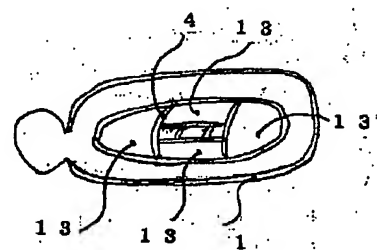
1	本体	11	水又
は湯			
2	バケツ	12	足
3	振動する台	13	サナ
の孔			
3	振動する台を受けてる台	14	温度
スイッチと調節			
4	サナ	15	振動
20	スイッチと調節		
5	敷物	16	ソケ
ット			
6	バケツの突起	17	すき間
7	台3の穴		
8	コード		
9	本体と台の止め金		
10	止め金で止める孔		

\*

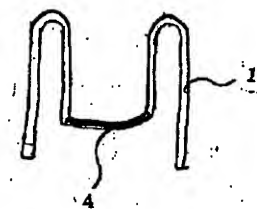
【図1】



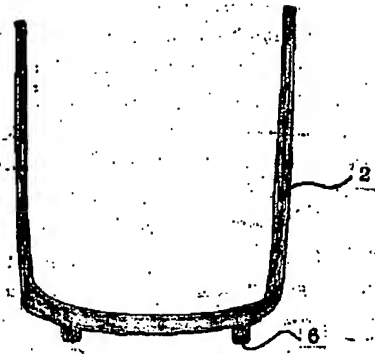
【図5】



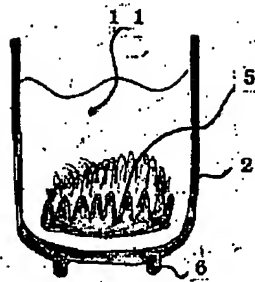
【図6】



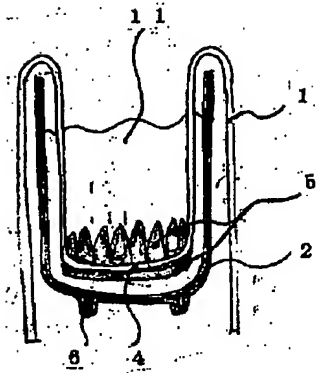
【図2】



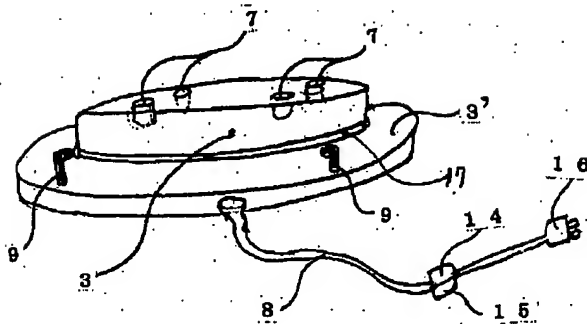
【図7】



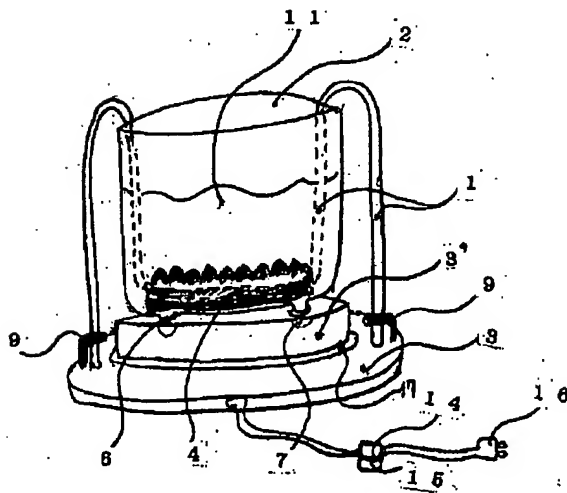
【図8】



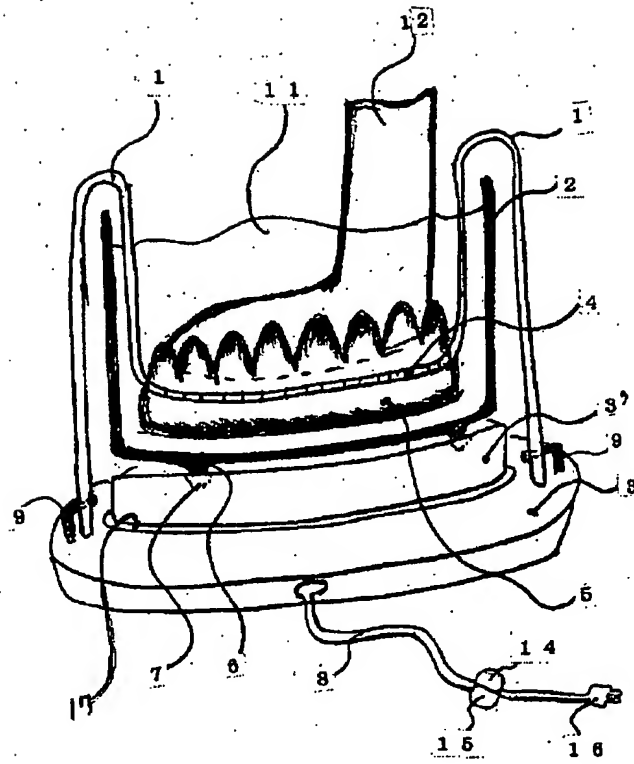
【図3】



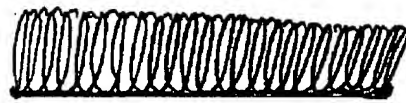
【図9】



【図4】



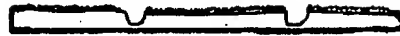
【図10】



ループ式



リボン式



ヘチマその他堅い素材

